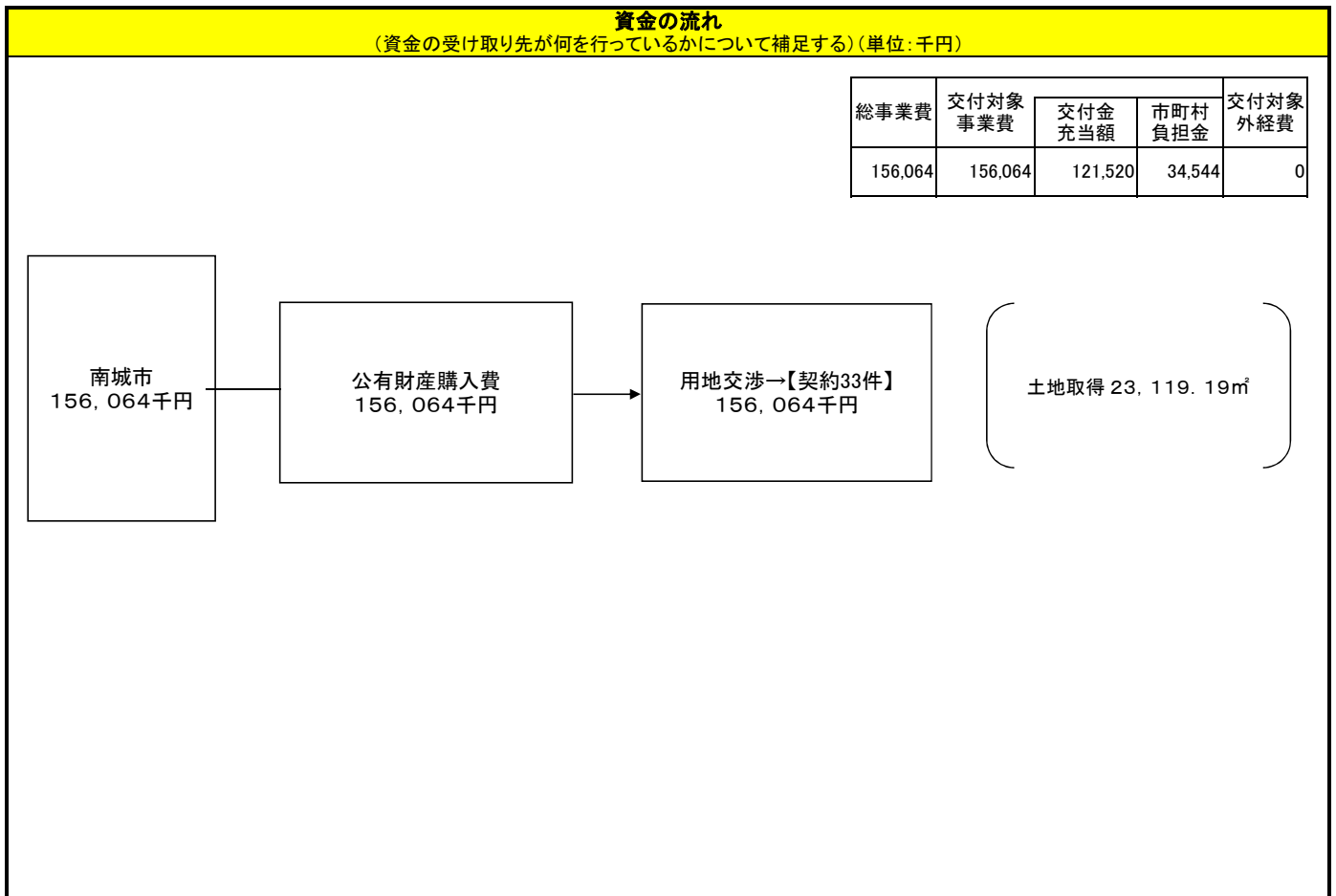


市町村名		南城市					
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑩ 観光振興将来拠点地整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
	担当部課名	企画部 企画室		事業実施(予定)年度	平成25~29年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備 Ⅲ-1-(1)
事業内容	本県南部地域及び本市の体験交流・滞在型観光の促進等、新たな観光振興に向け、空港や沖縄自動車道、那覇市からの交通アクセスが大きく改善される南部東道路IC周辺地において、公共駐車場や観光情報施設、台風等の災害時における、観光外来者等の避難の為に防災センターの整備を行うと共に、民間の観光施設(宿泊施設・レンタカー営業所等)の誘致、各種イベント等との連携を強化し、観光交流拠点の形成を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	85,063	-	161,900	-	
		(b) 予算現額	85,063	-	161,900	-	
		(c) 増減額(b-a)	0	-	0	-	
		(d) 繰越額	-	81,463	-	109,483	
		A. 計(b+d)	85,063	81,463	161,900	109,483	
	B. 執行済額		3,600	81,351	52,417	103,647	
	うち交付金充当額		2,880	65,080	41,933	79,587	
	次年度繰越額		81,463	-	109,483	-	
	執行率(%) (B/A)		4.2%	99.9%	32.4%	94.7%	
予算の状況の説明		用地購入にあたり、価格交渉や相続関係調査・調整に不測の日数を要したことから、H27年度に繰り越した。用地取得予定地の交渉不調による未取得用地があり、公有財産購入費5,836千円が不用額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	土地所有者及び利害関係者説明会	目標	( 開催 )	( )	( )	( )	
		実績	開催				
	事業認定申請および土地取得に係る手続き等、関係機関調整	目標	( 実施 )	( )	( )	( )	
		実績	実施				
観光拠点地として整備する用地取得業務(161,000千円)	目標	( 161,000千円 )	( )	( )	( )		
	実績	156,064千円					
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>土地所有者、利害関係者、自治会等への事業説明会を開催し、目的を達成することが出来た。</li> <li>平成27年12月に土地収用法に基づく事業認定を受け、目的を達成することが出来た。</li> <li>用地取得については、当初、161,000千円の取得を目標としていたが、用地交渉における、価格交渉、代替地要求による調整・調査に不足の日数を要し、取得が困難となったため、取得額が156,064千円となった。</li> </ul>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	用地取得率87%(内H25取得分28%)	目標	( )	( 87% )	( )	( )	( )
		実績		50%			
	土地所有者及び利害関係者説明会の実施	目標	( )	( 完了 )	( )	( )	( )
		実績		完了			
	事業認定申請の提出	目標	( )	( 完了 )	( )	( )	( )
実績			完了				

進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地取得率の設定については、当初、近傍地単価を参考に全用地費(277,100千円)を基に設定を行っていたが、鑑定評価結果を基に算定を行ったところ、全用地費が476,241千円となり、用地取得率の設定を変更する必要が生じた。先の理由により、目標値87%に対し、実績値50%となっているが、平成26年度実績(単年度)は約97%となっているため、概ね目標を達成したと考える。</li> <li>・土地所有者及び土地利害関係者等への説明会について、8月に実施した。</li> <li>・事業認定申請については、事業認定説明会の開催及び認定申請を行い、12月に認定された。</li> </ul>
--------	--

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用地交渉において、用地単価、所有者死亡による外国人相続等が発生し、交渉が難航するケースがある。</li> <li>・隣接地に整備される新庁舎建設工事と一体開発となるため、都市計画法に基づく開発許可申請についての協議・調整に時間を要している。</li> </ul>	用地取得業務は、用地交渉の頻度を増やすことで早期の取得が可能であると考えている。

今後の取り組み方針	
事業を進める上では用地取得が重要となるため、用地交渉の頻度を増やすなど早期取得に努める。 駐車場整備に向け、実施設計を行う。	



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事業区域内所有者との契約・支出のため妥当であったと考える。</li> <li>○鑑定評価に基づき適正な価値で取得しており、妥当であったと考える。</li> <li>○費目・用途について事業目的達成の観点から必要なものであり妥当であったと考える。</li> </ul>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市
------	-----

平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名	1-① 観光交流・防災機能拠点整備事業(ムラヤー構想)	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ
担当部署名	企画部 観光商工課	事業実施(予定)年度	平成25~26年度
		沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)

事業内容	住民と観光客との交流拠点や防災拠点施設としての利用、伝統芸能継承、青年会活動などの多様な活動を推進するため、観光交流・防災機能拠点の整備を行う。
------	--

実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )
------	--

		25年度	25年度(繰越)	26年度	26年度(繰越)	27年度
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額	85,063	—	156,197	—	
	(b) 予算現額	85,063	—	207,108	—	
	(c) 増減額(b-a)	0	—	50,911	—	
	(d) 繰越額	—	81,463	—	185,568	
	A. 計(b+d)	85,063	81,463	207,108	185,568	
	B. 執行済額	3,600	81,351	21,540	166,054	
	うち交付金充当額	2,880	65,080	17,232	132,843	
	次年度繰越額	81,463	—	185,568	—	
	執行率(%) (B/A)	4.2%	99.9%	10.4%	89.5%	
	予算の状況の説明	指定管理を予定している地元自治会との建物の配置及び面積の調整に不測の日数を要した。また関係機関の許可等にも不測の日数を要したことから当初の設計委託の日数では履行が困難となったため、年度内完了が困難となり、平成27年度へ繰り越した。積算の精査及び入札残により委託料で291千円、工事請負費で17,217千円、備品購入費で2,005千円の不用額が生じた。				

活動目標(指標)及び達成状況	H26活動目標(指標)	達成状況			
		26年度	27年度	28年度	29年度
	観光交流拠点施設の実施設計及び整備工事	目標 ( 実施 ) 実績 実施	( )	( )	( )
達成状況説明	平成26年度に実施設計を実施し、平成27年度に整備工事が完了した。				

成果目標(指標)及び進捗状況	H26成果目標(指標)	基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
		観光交流拠点施設完成	( )	( 完成 )	( )	( )
	進捗状況説明	実績	完成			
前川観光交流・防災機能拠点施設は平成27年11月に整備工事が完了し、平成27年12月に供用開始した。						

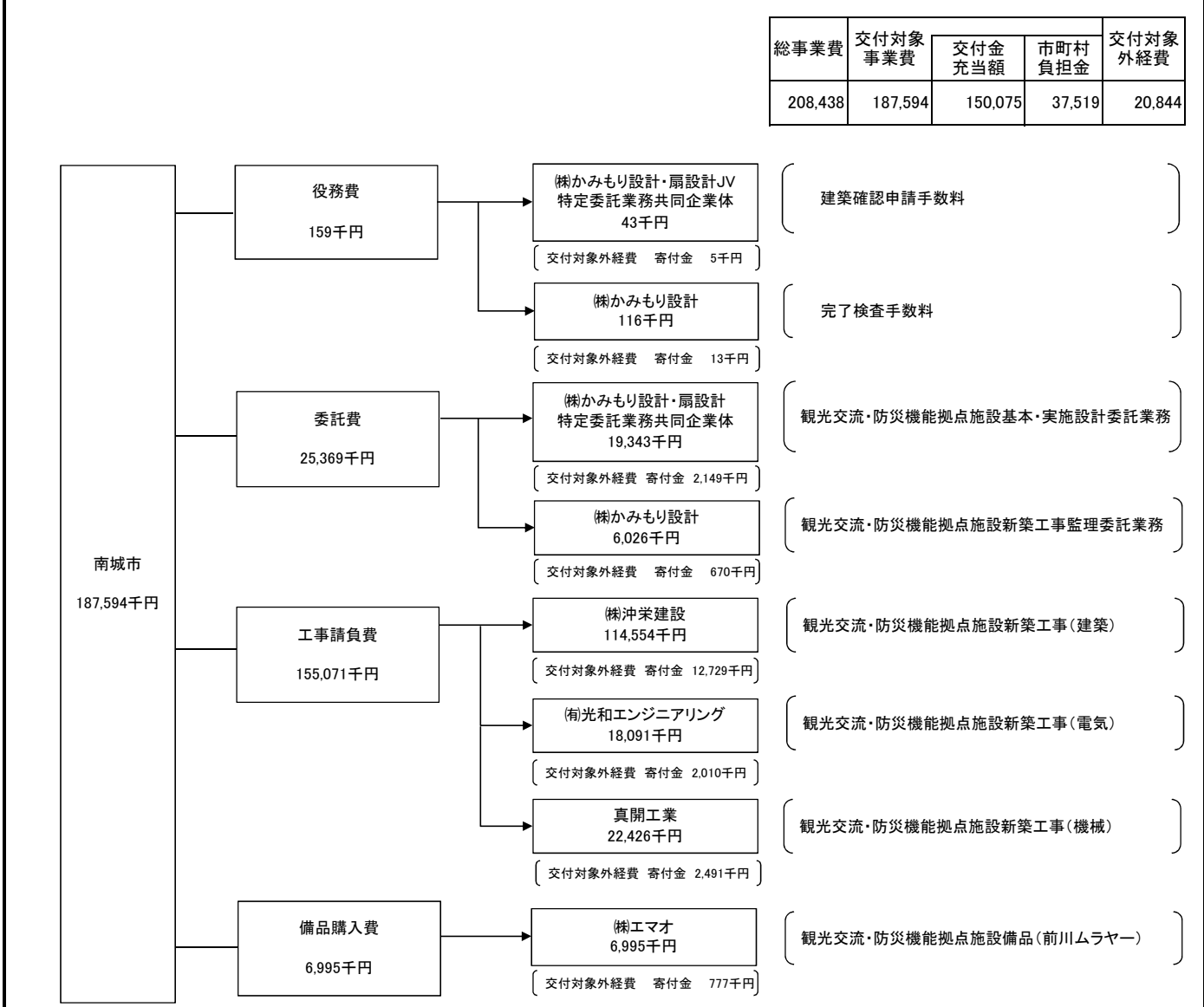
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>本市では住民と観光客との交流拠点や防災拠点施設としての利用、伝統芸能継承、青年会活動などの多様な活動を推進するため、観光交流・防災機能拠点の整備を行った。</p> <p>指定管理を予定している地元自治会との建物の配置及び面積の調整に不測の日数を要した。また、関係機関の許可等にも不測の日数を要したことから、平成27年度へ繰り越した。</p> <p>施設の完成により、観光客の受け入れが可能となったことから、今後の利活用に向け誘客事業に力を入れる必要がある。</p>	<p>当初計画より事業期間が大幅に遅れてしまったが、今後の事業実施に際しては、事業関係者とこれまで以上に緊密に意思疎通を図るとともに事業期間の延長が無いような計画で行いたい。</p> <p>施設の利活用については、観光協会等と連携することにより、誘客が期待できる。具体的には、観光協会と指定管理を受ける地元自治会との関係を強化していく取り組みが重要で、前者を入り口として観光客を引きつけるさまざまなソフト開発を進める必要がある。</p>

**今後の取り組み方針**

今回、施設整備をした前川区には、この地域でしか見ることができない個性的な伝統行事や民俗芸能(アヤグ)がある。観光客が見て体験できるツーリズムを構築し、沖縄を訪れる観光客に対して本質的価値を享受する機会を創出する。

また、防災面では、本施設を災害時の一時避難場所として活用するとともに地域ぐるみで防災計画を作成するなど、地域住民がムラヤーを核として主体的に取り組める環境を整えていく。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業者及び工事請負業者等は、指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○入札残などにより、委託料、工事請負費、備品購入費で不用額が生じたが、当初予定していた事業内容はすべて実施しており、適正な規模であった。 ○費目、用途については完了後に検査を実施しており、目的に則し、必要なものであったと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	南城市						
平成26年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③ 久高地区津波避難施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(4)-イ		
担当部署名	総務部 総務課	事業実施(予定)年度	平成26年度	沖縄振興基本方針該当箇所	災害に強い県土づくりと防災体制の強化 Ⅲ-10-(2)		
事業内容	久高島は標高が低く、津波災害が起きた際大きな被害が想定されるため、津波避難施設(防災タワー)を建設し、住民や観光客の安全、安心を確保する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ( )						
<b>予算額・執行額</b> 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		26年度	26年度(繰越)	27年度	28年度	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	125,300	-			
		(b) 予算現額	200,917	-			
		(c) 増減額(b-a)	75,617	-			
		(d) 繰越額	-	200,917			
		A. 計(b+d)	200,917	200,917			
		B. 執行済額	0	195,839			
		うち交付金充当額	0	156,671			
		次年度繰越額	200,917	-			
		執行率(%) (B/A)	0.0%	97.5%			
予算の状況の説明	事業執行に向けた、情報収集、関係機関(市教育委員会及び自治会)との協議、方針の決定に不測の日数を要し、事業の着手に大幅な遅れが生じ、年度内の工事完了が困難となり次年度へ繰り越した。事業費の建築単価及び人件費増等による工事費増加により補正を行った。不用額39,168千円については、委託及び工事の入札残によるものである。						
<b>活動目標(指標)及び達成状況</b>	H26活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	津波避難施設(防災タワー)の工事	目標	( 実施 )	( )	( )	( )	
		実績	実施				
達成状況説明	久高地区津波避難施設基本・実施設計を実施し、外構、建築工事が完了した。						
<b>成果目標(指標)及び進捗状況</b>	H26成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	津波避難施設(防災タワー)の完成	目標	( )	( 完成 )	( )	( )	( )
		実績		完成			
	進捗状況説明	平成28年2月で整備が完了し、同月より運用が開始され、住民や観光客の安全、安心を確保している。					

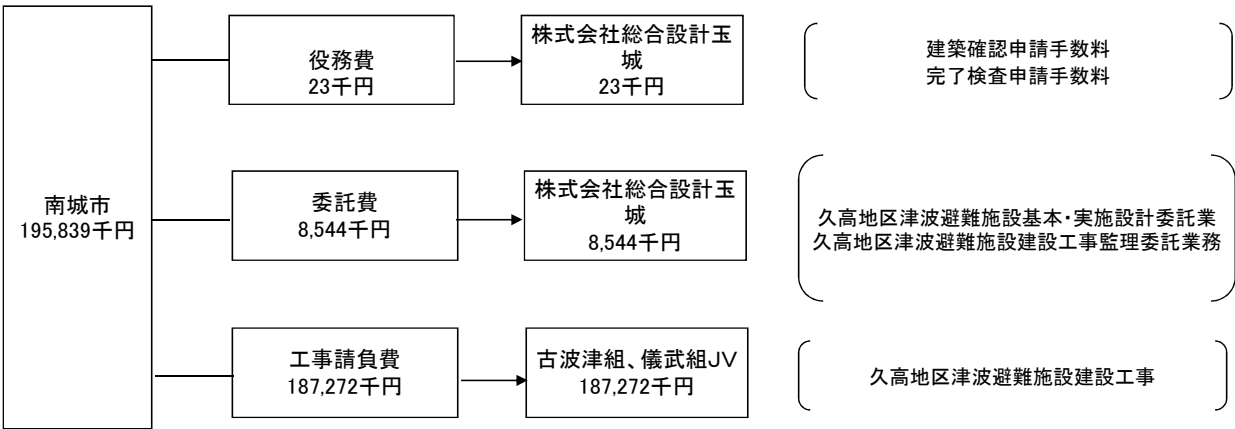
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>久高地区津波避難施設整備事業を整備することにより、久高島にて津波が起きた際に人的被害の軽減及び久高島における住民、観光で訪れている人々の迅速な避難誘導が可能となった。</p> <p>久高島を訪れる観光客等へ避難施設の位置とルートを分かりやすく周知する必要がある。</p>	<p>久高島に住んでいる住民は、津波が起こった際に最短ルートで津波避難施設に向かうことができるが、観光客に関してはルートが分からず混乱する恐れがあるため、チラシ等を作成し島外から訪れる人々を対象に避難経路を周知していく。</p>

**今後の取り組み方針**

津波避難施設の管理責任者を配置し、定期的な保守点検や管理体制を整備する。また、年に1回程度の訓練及び管理者への研修等を行うことにより、徹底した安全面を確保することはもとより円滑な運用を展開し、地域住民及び観光客の安全と津波被害の軽減を目指す。

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
195,839	195,839	156,671	39,168	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○委託及び工事の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。</p> <p>○予算規模についても適正な規模であったと考えている。</p> <p>○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	